



愛車維持管理の一大決断  
タイヤ交換シーズン到来!

# 集中 特集 TIRE CHANGE! 履き替え白書

春の訪れが感じられるこのシーズン。  
そろそろスタッドレスから夏タイヤに履き替えようと考えているひとも多いことだろう。  
そんな頃合いだからこそ、検討すべきなのが新品タイヤへの履き替え。  
現状をしっかりと見定めたくて、より充実したカーライフを送るために大きな決断をするのもひとつの策。  
目的や用途に合った銘柄選びをすれば景色が変わる!

**目に見えない劣化が進んでいるケースもある**

路面と唯一、接しているタイヤ。パツと見はただの黒いゴムの塊のようにみえるが、乗り心地や快適性、燃費や安全性に至るまで、クルマのあらゆる性能に大きな影響を及ぼしている。

ご存知の通り、タイヤは消耗品のひとつ。それを新調することで、様々なメリットが得られる。まず新しいタイヤを履くと安全性の向上につながる。なぜなら残り溝が深いため、雨の日もしっかり排水できるから。悪



## 知っておきたいタイヤ劣化のサイン



ゴムは時間が経つに連れて油分が抜けて、次第に柔軟性が失われてしまうもの。劣化が進みゴムが硬くなると本来のグリップ性能が得られず、滑りやすくなってしまふ。溝が残っていても使用開始から5年が経過しているなら交換したい。



ゴムの硬化が進み、ひび割れが発生しているようなら危険。ゴムが経年劣化している証拠だ。また縁石にヒットするなどして亀裂しているケースも。バーストする危険もあるので、すぐに新品タイヤに交換しよう。



残り溝が少ないと、雨の日にスリップしやすくブレーキも効きにくくなる。残り溝は1.6mmないと車検にも通らない。ちなみに片減りしている場合もNG。残り溝のすべてが1.6mm以上必要だ。タイヤの溝には盛り上がった部分(スリップサイン)があるので、露呈していないか要チェックだ。